



青森県漁業士会会報

R8.4 vol.30

浜風

HAMAKAZE

発行：青森県漁業士会

青森県水産振興課内

017-734-9592

編集：「浜風」編集委員会

はじめに

青森県漁業士会は、平成元年12月に発足し、4つの支部から構成されています。主な活動は、水産教室の開催など後継者育成や海浜清掃のほか、各支部独自に行う研修会や他支部・他漁業士との交流会の開催などを行っています。今回は、令和7年度の活動状況等について紹介します。



令和7年度青森県漁業士会通常総会

令和7年度青森県漁業士会通常総会は青森市で開催され、令和6年度の事業報告や令和7年度の事業計画等について審議を行いました。また、総会後には講師を招いた研修会が開催され、（国研）水産研究・教育機構八戸庁舎の成松庸二底魚資源部副部長から、「海洋環境の変化に伴う漁業資源の漁獲量変動とその対策」について発表いただき、講演とその後の質疑応答を通じて、近年の漁獲量の増減や魚種の変化に関する実態を学ぶことができました。



令和7年度青森県漁業士会通常総会及び研修会の様子



令和7年度青森県漁業士認定証交付式

令和7年度青森県漁業士会通常総会と併催する形で青森県漁業士認定証交付式が同会場で開催され、令和6年度に各支部から推薦され、令和7年度に青年漁業士及び指導漁業士に任命された17名へ認定証が、新たに推薦された名誉漁業士2名へ感謝状が種市水産局長から贈られました。

なお、令和7年に青年漁業士及び指導漁業士として認定された11名は令和7年度に開催する認定証交付式において認定証が交付されます。

名誉漁業士になられた高嶋昌次様、二木春美様には、長きにわたり地域漁業の振興や後継者の育成など、当会の活動に御尽力いただき、誠にありがとうございました。



令和7年度青森県漁業士認定証交付式の様子



新青年漁業士、新指導漁業士及び新名誉漁業士の紹介

○令和7年度新青年漁業士

東青漁業士会

さかもと たくや

青森市漁協 坂本 拓哉（ホタテガイ養殖）



このたび青年漁業士の認定を受けました坂本拓哉です。ホタテガイ養殖業を主に営んでおり、半会員だけではなく、会員作りにも取り組んでいます。

漁業士会の中で、海洋環境に関する知識や、他の地域でどのようなことに取り組んでいるのか、意見交換したり交流を深めたいと思っています。

東青漁業士会

なごや ゆうき

青森市漁協 名古屋 侑希（ホタテガイ養殖）



このたび青年漁業士の認定を受けました名古屋侑希です。ホタテガイ養殖業を主に営んでおり、研究会での活動を通して「いい貝」作りに取り組んでいます。

漁業士会の諸先輩方と交流を深め関わりを持ち、他の浜の状況について知りたいと思っています。

東青漁業士会

みつや ゆうじ

平内町漁協 三津谷 祐嗣（ホタテガイ養殖）



このたび青年漁業士の認定を受けました三津谷祐嗣です。ホタテガイ養殖業を主に営んでおります。現在、ホタテガイ養殖を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっていますが、動かなければ何も変わらないと思い、漁業士会に入会しました。

漁業士会で開催される研修会などに積極的に参加し、知識を深めるとともに、諸先輩方と仲良くなれたらと思っています。

東青漁業士会



平内町漁協 みつや よしお
三津谷 宜央 (ホタテガイ養殖)

このたび青年漁業士の認定を受けました三津谷宜央です。ホタテガイ養殖業を主に営んでおりますが、最近の気候による影響で養殖の継続が危ぶまれる中、地元の仲間と手を組んで魚を獲ったりして、なんとか漁業を続けています。

先輩方から、漁業を続けていく術を伝授していただきたいと思っていますので、たくさん話がしたいです。

むつ支部会



奥戸漁協 よろすや かずゆき
萬谷 和幸 (くろまぐろ延縄、いか釣り漁業)

このたび青年漁業士の認定を受けました奥戸漁協の萬谷です。

地域では、地元イベントにも積極的に参加しています。

漁業士会では研修会等にも積極的に参加し、地元漁業の活性化のために知識や技術を学びたいと思います。

三八漁業士会



八戸市南浜漁協 いしい しゅんご
石井 駿吾 (定置網)

このたび青年漁業士の認定を受けました石井駿吾です。定置網漁業に従事しているほか、「八戸水産価値向上委員会」の会長を務めております。

漁業士会の先輩方や他地域の漁業士と情報交換を通じて、自分の漁業に活かしてだけでなく、八戸の漁業を盛り上げていきたいです。

○令和7年度新指導漁業士

東青漁業士会



おくや すすむ
青森市漁協 奥谷 進（ホタテガイ養殖）

このたび指導漁業士の認定を受けました青森市漁協の奥谷です。奥内漁業研究会での活動や青森市水産振興センターが行う調査・試験に積極的に協力しています。

指導漁業士として、これからも地域のための調査に協力し、漁業発展に貢献していきたいと思ひます。

東青漁業士会



なかむら たくや
青森市漁協 中村 拓也（ホタテガイ養殖）

このたび指導漁業士の認定を受けました青森市漁協の中村です。奥内漁業研究会会長及び陸奥湾内漁業研究会会長等連絡協議会会長を務めています。地先調査への協力や、担い手育成にも取り組んでおり、今後も積極的に活動していきたいと考えています。

指導漁業士として周りの漁業士とともに、活力ある浜づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

東青漁業士会



ふなはし しんご
平内町漁協 船橋 慎吾（ホタテガイ養殖）

このたび指導漁業士に認定されました平内町漁協清水川支所の船橋です。令和7年度より、清水川研究会会長となりました。ホタテガイ養殖を支える、基礎的な調査に積極的に協力し、また調査で得られた情報を浜へ伝達する役割を全うしていきたいと思ひています。

これからも漁業士会への積極的な活動を続けていきたい所存です。

東青漁業士会



よこはま ひろふみ

野辺地町漁協 横濱 福太郎（ホタテガイ養殖）

このたび指導漁業士の認定を受けました野辺地町漁協の横濱です。野辺地町漁協の副組合長を務めており、積極的に自営事業に協力するなど組合運営に携わっています。

これからも他の漁業士との連携を取りながら、漁業発展に尽力し、また指導漁業士として後輩の育成に努めていきたいと思っています。

むつ支部会



きのした きよし

風間浦漁協 木下 清（刺網、延縄、一本釣漁業）

このたび指導漁業士の認定を受けました風間浦漁協の木下です。私は蛇浦地区で刺網漁業に従事し主にキアンコウを漁獲しています。また、風間浦漁協蛇浦支所青年部部長を務めており、地元イベントにも積極的に参加しています。漁業士会では研修会等にも積極的に参加し、地元漁業の活性化のために知識や技術を学びたいと思います。

○令和8年度新名誉漁業士

なかむら ひさお

中村 久雄（青森市漁協）

なかむら ゆみこ

中村 由美子（青森市漁協）

かわむら ひさお

川村 久雄（小田野沢漁協）

いせだ みつあき

伊勢田 光明（白糖漁協）

はやした さとし

林下 智（泊漁協）



令和7年度東北・北海道ブロック漁業士研修会

日本海支部会（新深浦町漁協） 山下 幸彦

令和7年度東北・北海道ブロック漁業士研修会は、令和7年7月11日、12日に福島県いわき市で開催されました。青森県漁業士会からは私が出席しました。

会議では、令和8年度全国漁業士連絡会議で提案するテーマについて協議を行い、「漁業士として活動するメリット」をテーマとして提案することになりました。昨年度同じ会議に出席した際に、現場の立場として水産庁へ直接浜の声を伝える場があれば大変良いと感じていたため、引き続き全国の漁業者とこの話題について意見交換したいと考えております

研修会では、（国研）水産研究・教育機構水産技術研究所の橋本主任研究員を講師に迎え、「魚の”おいしい”を科学する～」と題した講演が行われました。講演内では魚を水揚げした後に寝かせる日数の違いに触れられていたほか、西日本と東日本の食文化の違いについても触れられており、とても参考になりました。

研修会終了後の交流会では、これまで獲れていた魚介類が獲れなくなっていること、女性漁業士の数が減少しており、活動として取り組むのが難しくなっていることなどが他県の参加者からも挙げられ、共通の課題であると感じました。

12日は福島県水産海洋研究センターへ行き、近年、施設内の設備及び福島県内で現在行われている研究について説明を受けました。

次年度は、秋田県で開催される予定です。現在のところ開催時期は未定ですが、今回参加した他県の参加者と、また情報交換できる機会を楽しみにしております。



研修会の様子



研究所の視察



令和7年度日本海ブロック漁業士研修会

日本海支部会（新深浦町漁協） 山下 幸彦

令和7年8月25日に、日本海ブロック漁業士研究会が山形県酒田市にあるホテルリッチ & ガーデン酒田で開催され、青森県からは私が参加しました。

日本海ブロック協議では、今年度のディスカッションテーマである「漁場環境の変化に対応し、安定した漁業収入の確保と漁村地域の活性化に向けて、漁業士のできることは」について、各県の取組について情報交換を行いました。

また、令和8年度全国漁業士連絡会議に向け、各府県から提案されたディスカッションテーマについての話し合いが行われました。近年の海洋環境の変化から、今まで獲れることのなかった暖水系の魚種が新たに漁獲されるようになったが、処理や調理の知識がなく、うまく利用ができていない現状があることから、「漁獲魚種への変化の対応について」を次回のテーマとして提案することになりました。

他に、今年は全国漁業士連絡会議で、水産庁との意見交換を行う予定があり、その内容についても話し合われました。様々な意見が出されましたが、大きく分けると「漁業士とその活動の減少についての対策や提案」、「補助金や支援制度の充実や利用しやすい制度への改善」、「クロマグロの資源量増加の対策」についての意見が出されました。

研修会では、山形県漁業協同組合の折口総務部担当部長より、「漁協の経営構造改革について」と題して講演がありました。水産資源の減少及び漁業者の減少による連続赤字を受け、今後水揚げ高のさらなる減少を受けても安定した経営を継続するために行った事業構造の改革の事例の紹介がありました。具体的な内容としては、新電力への切り替え、照明のLED化、残業時間の見直し、コピーFAX費の削減、給食供給事業の強化、道の駅でのアンケート結果を受けた品揃えの拡大等で、実際の数字と合わせて説明がありました。また、今後に向けた計画として、直販ギフト、レトルト市場への参入、アワビの陸上養殖の展望についても紹介がありました。

研修会終了後の交流会では、海洋環境の変化により、獲れる魚種が変化しただけでなく、サメ等による漁具への被害が複数の地域で起こっているという話も耳にしました。

今後も海洋環境の変化による問題が次々に出てくると思いますが、他地域との情報交換を行いながら、対応策を考えていく必要があると感じました。



令和7年度東日本女性漁業士交流会

東青漁業士会（青森市漁協） 中村 由美子

令和8年2月4日～5日に、宮城県において東日本女性漁業士交流会が開催され、本県からは3名の女性漁業士が参加しました。

1日目は仙台市ホテルグランテラス仙台国分町において、(一社)フィッシャーマンジャパンのクリエイティブディレクターを務める安達日向子さんから、「女性の視点が変わる、選ばれる漁村の未来」と題して講演が行われました。講演では、浜にいる女性が地域のコミュニティを形成し、また付加価値向上に取り組んできた歴史に触れ、女性がいることによって生み出される多様性や、新たな仕事の一助となるなど、これからの漁業・漁村発展のための貴重な話を聞くことができました。講演後のグループディスカッションでは、宮城県や岩手県の漁業士と、今の浜を取り巻く環境について意見交換を行い、女性漁業士の加入が少ないことなど、各浜共通で抱える課題を解決する方法について話し合いました。

2日目は名取市閑上地区において、震災からの復興のためにランドマークとして整備された「かわまちてらす閑上」の現地視察を行い、代表を務める佐藤智明様から閑上地区の背景や、復興のために取り組んでいることについてお話がありました。地元で元気のなくなった浜に、もう一度活気を取り戻すためのよい学習となりました。現地視察後は、交流を深めるため、フルーツパークあらはまにおいていちご狩りに参加しました。初めていちご狩りをしたこともあり、参加者の皆さんと楽しいひとときを過ごすことができました。

来年は岩手県での開催予定となっております。私は令和7年度で前線を退き、名誉漁業士として残ることとなりますが、せっかくながりができましたので、来年も参加できれば大変嬉しく思います。



参加した漁業士と記念撮影



いちご狩りの様子



支部会トピックス

○令和7年度東青漁業士会

○あおもりの漁師祭に参戦！

昨年から新たに始まったイベント「あおもりの漁師祭」に参加しました。コロナ以降、久しぶりのイベント参加となり、事前準備はなかなか大変でしたが、当日はたくさんのお客さんに購入いただき、達成感のある企画となりました。

当日は、マダイの潮汁とムール貝の酒蒸しの飲食販売の他、鮮魚販売も行いました。マダイやムール貝は、陸奥湾で最近増えてきた魚種で、湾内では第一線で活躍することが少ないものたちですが、今回たくさんのお客さんに食べていただけておいしさに気づいてもらえたかと思います。また、我々漁業士側としても、これらに商品としての価値があると気づかせてもらう機会となりました。

来年も参加し、活気ある活動を続けていきたいと思えます。



あおもりの漁師祭の様子

○ほたてキャラバン隊出動！

東青漁業士会では、青森県ほたて流通振興協会と共に、「青森ほたてキャラバン隊」として県内各地の小学校を訪問し、「青森ほたて」出前講座において講師を続けています。

今年度は2校に訪問し、小学生が「青森ほたて」を身近に感じて貰えるように、会員が生徒一人一人に寄り添い、ホタテ漁業の話やホタテのほやし方の授業を行いました。

今後も子供たちが笑顔で学べる講座となるよう、会員の派遣を続けていくつもりです。



「青森ほたてキャラバン隊」出前講座の様子

○令和7年度日本海支部会

昨年度に引き続き、令和7年度6月28日（土）に五所川原市脇元海岸において、五所川原第一高校「じゃわめき隊」の生徒及び保護者、一般参加者、五所川原市職員と日本海支部会員の総勢40名で「市浦清掃活動大作戦」と称した海浜清掃を行いました。

当支部会の山下会長による挨拶と漁業士会についての紹介の後、海浜清掃を開始し、程よい気温で天候に恵まれた中、若い年代と交流を行いながらゴミを集め、トラックの荷台に乗りきらない程の量のゴミを集めました。若い年代に海や漁業に興味を持ってもらうきっかけとして今後も続けていければと思っています。

当日運搬しきれなかった大型のゴミも含め、清掃後のゴミの処理は五所川原市市浦総合支所のご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



海岸清掃の様子

○令和7年度三八漁業士会

○小川原湖の漁業に関する水産教室

令和8年3月16日（月）に青森原燃テクノロジーセンターにおいて、東北町内の保育園児を対象とする東北ロータリークラブ主催の水産教室が開催され、小川原湖漁業協同組合に所属する濱田正幸氏、沼辺正孝氏及び千葉優士氏の3名の指導漁業士が講師を務めました（昨年に続き4回目）。

参加した約80名の園児たちは、ゆるキャラ（ロータくん、しじみーる）と楽しみながら地元小川原湖の漁業について理解を深めました。

○三八漁業士会研修会

令和8年3月24日（火）に八戸商工会議所において、三八漁業士会研修会を開催しました。

公益社団法人 青森県栽培漁業振興協会の松橋専門員を講師にお招きし、「ミネフジツボの種苗生産」についてご講演いただいたところ、参加者は熱心に聴講していました。



小川原湖の漁業に関する水産教室の様子



三八漁業士会研修会の様子

○令和7年度むつ支部会

令和7年度、むつ支部会では海浜清掃、豊漁・豊作祈願祭神事を実施しました。

○海浜清掃

令和7年6月8日に岩屋漁港において、岩屋漁協、AMLS協議会、泊漁協女性部、小田野沢漁協女性部、東通村漁業連合研究会の協力のもと海浜清掃及び管内交流会を開催しました。

○豊漁・豊作祈願祭神事

令和7年10月17日に田名部神社で豊漁・豊作祈願祭神事を実施しました。青森県漁業士会むつ支部会会長、下北農林水産事務所長、むつ水産事務所長、各漁業協同組合代表理事組合長、漁業士会むつ支部会会員出席のもと、玉串奉奠を行い豊漁・豊作を祈願しました。

当支部会においては、研修会で学んだことも生かしながら、イベント等を開催することで、少しでも浜の賑わい再生の一助を担っていきたいと思っておりますので、関係機関の皆様には引き続き御支援、御協力をお願いいたします。



海浜清掃の様子



豊漁・豊作祈願祭の様子

第31回全国青年・女性漁業者交流大会

令和8年3月4、5日に東京都中央区のAP日本橋で開催された「第31回全国青年・女性漁業者交流大会」において、「第66回青森県青年・女性漁業者交流大会」で「佐井村へ、漁師を志してー佐井村漁師縁組事業の取り組みー」を発表し優秀賞を受賞した、佐井村漁業協同組合の家洞昌太さんが青森県代表として発表し、【全国漁業協同組合連合会会長賞】を受賞しました。

家洞さんは他県出身で、佐井村漁師縁組事業を通じて高校卒業後に佐井村に移住・就業し、現在は正組合員として地域に根ざし漁業に従事されています。今後ますます地域の中核としてご活躍されることを期待しています。



第31回全国青年・女性漁業者交流大会の様子



県交流大会の開催方式変更について

令和8年度から青森県青年・女性漁業者交流大会の開催方式が変更となります。

これまで毎年開催していた当大会ですが、発表内容に厚みを持たせることを目的に3年に1度の開催とし、また発表した年度中に東京で開催される全国青年・女性漁業者交流大会に出席してもらうため、夏の開催とします。

今年度については場所も変更となっておりますので以下をご確認ください。

<第67回青森県青年・女性漁業者交流大会>

日時：令和8年8月28日（金）

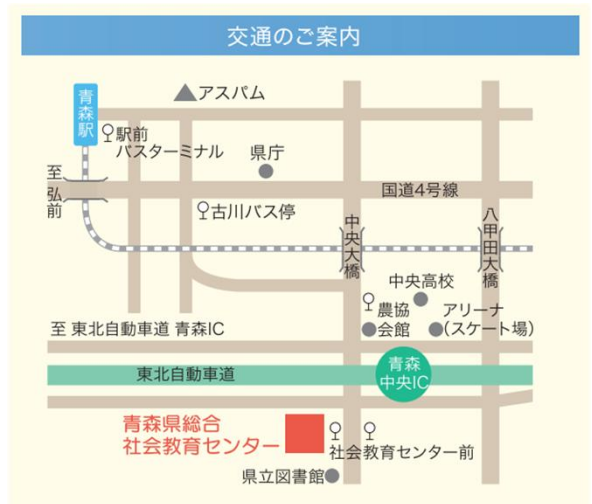
13：30～15：30

場所：青森県総合社会教育センター

2階 大研修室



日時と場所が昨年と
違います！
お気を付けてください！



「あおもり漁師への道」リニューアルについて

令和2年度に開設した新規漁業就業者向けサイト「あおもり漁師への道」を令和8年3月にリニューアルしました。新しいサイトでは、コンテンツを追加したほか、求人情報や動画がスマートフォンでも見やすくなりました。今後は、情報の更新を進めていく予定です。

(株)

市町村	
漁業種類	大型刺し網漁業
給料	年収500～800万円
休日	1月中旬～3月中旬
雇用形態	通年雇用
求人詳細	求人情報詳細

動画紹介



青森県の新規漁業就業者向けサイト「あおもり漁師への道ーあおもりで漁師目指そうー」

漁業後継者育成研修

ひん よう じゆく

賓 陽 塾

令和8年度受講生募集のお知らせ

【研修内容】

- 1 漁業基礎研修（8月～9月：水産総合研究所）
 - ・水産知識 漁業関係法令・制度、栽培漁業・資源管理
簿記漁業経営、ホタテガイ養殖、漁獲物の
鮮度保持
 - ・漁業技術 ロープワーク（各種ロープさつま加工など）
沿岸漁業実習（ホタテガイ養殖）
 - ・視察研修 県内の水産関連施設



- 2 資格取得講習（8月下旬：水産総合研究所）

一級・二級小型船舶操縦士（※）

※受講には、漁業基礎研修の参加が条件となります。

【募集要項】

募集人員：10名程度

通学方法：各自交通手段による通学制（水産総合研究所で行う研修を受講する場合は、同所内宿泊施設の利用も可能）

受講料：無料（資格取得のための経費は各受講者が負担）

応募資格：県内の漁業後継者または県内の漁業へ就業を希望する者（性別・年齢不問）

受付期間：令和8年4月1日～5月31日

随 時 受 付

出前講座

対象：県内の漁協青年部や漁業研究会等の団体 開催人数：10名程度 開催場所：現地

内容：各種ロープワーク（さつま加工等） 開催期間：4月～3月

《お問い合わせ》

青森県農林水産部水産局水産振興課企画・普及グループ

電話：017-734-9592

地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所

電話：017-755-2155

青森県東青農林水産事務所青森水産事務所

電話：017-765-2520

青森県三八農林水産事務所八戸水産事務所

電話：0178-21-1185

青森県西北農林水産事務所鱒ヶ沢水産事務所

電話：0173-72-4300

青森県下北農林水産事務所むつ水産事務所

電話：0175-22-9732



青森県漁業士会会報「浜風」8.4 vol.30